

## 船舶事故調査報告書

平成30年6月20日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	沈没
発生日時	平成30年2月22日 09時30分ごろ
発生場所	青森県 <sup>あじがさわ</sup> 鱒ヶ沢町 <sup>しちりながはま</sup> 七里長浜港 鱒ヶ沢港北防波堤灯台から真方位057° 1.4海里付近 (概位 北緯40° 47.9′ 東経140° 14.3′)
事故の概要	作業船（船名なし）は、漂流中、沈没した。
事故調査の経過	平成30年2月27日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	作業船（船名なし）、総トン数なし
船舶番号、船舶所有者等	なし、秀和設計コンサルタント株式会社
乗組員等に関する情報	操船者 乗船者
負傷者	軽傷 2人（操船者及び乗船者）
損傷	船体、船外機及び測量機器に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好 海象：うねり 波向北西、波高約1.0～1.5m、海面水温 約6～9℃
事故の経過	<p>本船は、操船者及び乗船者が乗り、七里長浜港の港口付近において、船首を西方に向け、測量作業の目的で船外機を中立として漂流中、操船者が右舷船尾部におり、乗船者が船体中央部で測量機器の操作を行っていたところ、右舷側から波高約1.0～1.5mの横波を受け、海水が船内に流入して沈没した。</p> <p>操船者及び乗船者は、海中に浸かった状態となった。</p> <p>付近の陸上で作業をしていた同僚は、異変に気付いて近くにいた船舶に救助を要請した。</p> <p>操船者及び乗船者は、来援した船舶によって救助され、病院で低体温症と診断された。</p> <p>操船者は、数年前から年1回程度、測量作業の目的で本船の操船を行っており、本事故時、陸上の作業員の動向に注意を向けていた際、いつの間にか横波が来ていたと本事故後に思った。</p> <p>本船は、和船型の小型ボートであった。</p> <p>操船者及び乗船者は、ベスト型の救命胴衣を着用しており、操船者が体重約87kg、乗船者が体重約73kgであった。</p> <p>本船の測量機器は、数kg程度の重さであった。</p>
分析	本船は、測量作業の目的で漂流中、操船者が陸上の作業員の動向に注意を向けていたことから、波高約1.0～1.5mの横波が来ている

	ことに気付かず、右舷側から横波を受けて海水が船内に流入し、沈没したものと考えられる。
<b>原因</b>	本事故は、本船が、測量作業の目的で漂泊中、操船者が陸上の作業員の動向に注意を向けていたため、波高約1.0～1.5mの横波が来ていることに気付かず、右舷側から横波を受けて海水が船内に流入し、沈没したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 小型ボートは、横波を受ければ浸水等の可能性が高まるので、波高及び波向に注意を払うこと。